

仙台市議会だより

sendai city assembly

第196号
令和4年

第1回定例会号

<https://www.gikai.city.sendai.jp/>

2022年(令和4年)5月発行

発行 仙台市議会
編集 仙台市議会広報委員会
TEL (214) 6169 青葉区国分町3-7-1

年4回発行



上空からみた井土地区



上空から見た仙台港と蒲生北部地区



海岸公園冒険広場

東部沿岸部の風景

本市の東部沿岸部は、東日本大震災の津波により、住まいや農地だけでなく、岡田地区、井土地区等の海岸公園や、珍しい水鳥や植物等が生息する蒲生干潟も大きな被害を受けました。

海岸公園は、緊急時の一時避難場所とする避難の丘の整備等により、津波防災機能や震災の記憶の継承という新たな役割を持ちながら、自然の中でレクリエーションやスポーツ活動を行える場として平成30年7月に全面的に利用を再開しました。また、蒲生干潟の再生も緩やかに進みつつあります。

平成29年からは、民間公募による防災集団移転跡地活用事業により、ドッグランや体験型観光農園の整備等、にぎわい創出に向けたさまざまな取り組みがなされています。

令和4年当初予算を含む83件の議案を可決

3/14	3/7	3/3	2/24 ~ 3/10	2/22	2/21	2/18	2/17	2/15 ・ 2/16	2/8
本会議	本会議	本会議	予算等審査特別委員会	常任委員会	本会議	本会議	本会議	本会議	本会議
・ 議案の討議・採決 ・ 意見書の討議・採決 ほか	・ 追加議案の委員会付託	・ 追加議案の採決	・ 予算等議案の審査	・ 予算等議案以外の審査	・ 追加議案の質疑6人	・ 一般質問7人	・ 追加議案の提案理由説明 ・ 一般質問7人	・ 代表質疑6人	・ 人事案件 ・ 議案の提案理由説明

令和4年第1回定例会 会期日程

市民のみなさまへ

令和4年第1回定例会では、当初提案として、令和4年度当初予算案や条例案など74件の議案が提出されました。また、追加提案として、中小企業等事業復活支援給付金等に係る補正予算案や国民健康保険条例改正案など4件が提出されました。

代表質疑では、音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点施設の整備や青葉通駅前エリア社会実験、郡市政の施政方針など今後の本市のまちづくりや市民の皆様の暮らしに関わる重要事項について議論が行われました。

一般質問では、新型コロナウイルス対策に係る諸課題、定禅寺通活性化、災害対策、被災者支援の在り方など市政の幅広い分野について質問がなされました。また、令和4年度当初予算

案や関連する条例案などを審査するため、全議員で構成する予算等審査特別委員会を設置し、11日間にわたって活発な議論を展開しました。

さらに、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対する抗議に関する決議を採択したほか、委員会への参考人招致に係るオンライン出席についての規定整備を行う条例改正案を議員提案し、可決しました。また、台湾の世界保健機関(WHO)への参加実現のための取組の強化を求める件など3件の意見書を可決し、国に提出しました。本市議会では、市政のさまざまな課題に的確に対応しながら、仙台市の未来を見据えた活力あるまちづくりのため、力を尽くしてまいります。

仙台市議会
議長 赤間 次彦
副議長 村上 かずひこ

本会議		委員会		本会議	
閉会	議決	特別審査委員会	常任委員会(5委員会)	代表質疑	提案説明
議長の閉会宣言で会議が終了します。	議案について、賛成・反対の採決を行います。	議員全員で構成し、一問一答方式によって詳しく予算等議案について審査の上、委員会としての賛成・反対を決定します。	それぞれの委員会に所属する議員が専門的に審査の上、委員会としての賛成・反対を決定します。	各会派の代表議員が議案について質疑し、提案者に説明を求めます。発言を通告した議員が市政全般について質問し、執行部の説明を求めます。	市長および議案を提出した議員が議案の提案理由を説明します。
				令和4年度予算等議案について詳しく審査するために、予算等審査特別委員会を設置して付託します。その他の議案は、常設の5つの常任委員会に付託します。	

定例会の流れ

市民のみなさまへ	定例会会期日程	定例会の流れ	主な議案の紹介	代表質疑	常任委員会審議の概要	一般質問	用語解説	予算等審査特別委員会	次回定例会のお知らせ	会派別議案賛否一覧表	意見書・決議	会派別所属議員	議長特別表彰を行いました	編集後記
1面	2面	2面	2・3面	4面	4・5面	5面	6・7面	7面	8面					

主な議案の紹介

今定例会に提出された議案83件全てが可決され、成立しました(8面の会派別議案賛否一覧表をご参照ください)。以下、成立した議案の一部を紹介します。
なお、予算等の審査については、6・7面をご覧ください。

令和3年度補正予算

- 一般会計(主な補正項目)
 - ・蒲生北部地区における市有地売却益の増収に伴い、震災復興基金造成のための積立金17億5281万9千円を追加するもの
 - ・障害福祉サービスに係る給付費の増加に対応するため、必要な経費4億9387万2千円を追加するもの
- 国(令和3年度第1号補正予算)に係る補助事業認定決定見込みにより、保育士等の処遇改善を行うための経費6億5944万5千円を追加するもの
- ・地域ブランド「都の杜・仙台」の販売力強化を図るため、付加価値向上に要する経費1千万円を追加するもの
- ・国の令和3年度第1号補正予算に係る補助事業認定決定見込み等により、道路改築等に必要経費14億7896万7千円を追加するもの
- ・原料価格の高騰等に伴う光熱水費の増加に対応するため、小学校運営管理費1億2214万1千円を追加するもの

条例

- 交通指導隊条例の一部を改正する条例
議員の委嘱に係る年齢の要件を改めるもの
- 障害者福祉センター条例の一部を改正する条例
障害者福祉センターが行う事業の範囲を改めるとともに、当該事業に係る利用の許可および費用料について定めるもの
- 自転車等駐車場条例の一部を改正する条例
五橋駅自転車等駐車場を設置するもの
- 消防団員に関する条例の一部を改正する条例
非常勤の消防団員のうち班長および団員の職務報酬を改定し、非常勤の消防団員の出場報酬を改めるとともに、非常勤の消防団員に対して費用弁償を支給することとするもの
- 交通事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
一般貸切旅客自動車運送事業を

廃止するとともに、一般乗合旅客自動車運送事業の事業区域を改めるもの

- 病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
診療科目として腎臓内科を設けるもの
- 副市長の選任
高橋 新悦
- 固定資産評価審査委員会の委員の選任
千葉 芳信、高橋 直子、斎藤 一寿
- 土地利用審査会の委員の任命
井上 亮、佐々木 真理、千葉 達朗、藤澤 和明、丸尾 容子
- 宮城県公安委員会の委員の推薦
星 倫市
- 人権擁護委員候補者の推薦
竹内 久子、竹川 訓由
- 丹野 誠司、齋藤 耕平、山田 誠司、齋藤 文子、飯村 俊幸、千葉 文子
- 人事委員会の委員の選任
芳賀 洋一
- 監査委員の選任
船山 明夫

議員提出議案

- 議案第1号 仙台市議会委員会条例の一部を改正する条例
オンラインによる参考人の委員会への出席について、所要の規定の整備を行うもの
- 議案の追加提案
2月17日、本会議において、第75号議案 令和3年度一般会計補正予算(第19号)が追加提案されました。
- これは、新型コロナウイルス感染症の影響により売り上げが大きく減少した事業者に対して給付金を支給するとともに、子育て世帯
- 等臨時特別給付金の対象に離婚家庭等を追加するため、経済費において中小企業等事業復活支援給付金の支給に要する経費5億6400万円を追加する等のものです。
- この議案に対して、自由民主党の猪又隆広議員、市民フォーラム仙台の加藤けんいち議員、公明党仙台市議員の小田島久美子議員、せんだい自民党の佐々木心議員、日本共産党仙台市議員の高見のり子議員、市民フォーラム市議員の石川建治議員が、それぞれ質疑を行いました。
- また、3月3日、本会議において、第76号議案 国民健康保険条例の一部を改正する条例が追加提案されました。
- これは、国民健康保険法施行令の改正を考慮し、基礎賦課額および後期高齢者支援金等賦課額の限度額を改定するものです。

自由民主党

鈴木 勇治 議員

問 世界に誇るまちづくりを目指すなら、「アジアのリーダー都市」のような目標を掲げ、ハード・ソフトを組み合わせた施策展開が必要だ。市長が施政方針で世界を強く意識した思い、施策実現の決意を伺う。

答 世界から選ばれるまちの実現のため、いかに地域が輝き続けられるかを考える大切な時期である。

問 子どもの医療費助成制度について、所得制限を撤廃する市長の判断を評価する。令和5年4月から運用開始とのことだが、少しでも早い実施を求める。

答 子育て環境をより充実させるための選択の中で、特に子どもへの健康を支える観点を重視し、継続的な子育て家庭の経済的負担軽減に資することから決断した。時期の前倒しについては、制度の詳細を考えていく中で、システム改修も含めた準備の時間や財源の確保等、さまざまな観点から検討したい。

問 子どもの社会的自立につながるような教育や、年齢や性別、国籍を問わない学びの確保が重要。令和5年度に夜間中学設置や不登校特別校開校が予定されているが、時代に即した学都仙台となるよう、多様な教育環境の充実を図るべき。

答 学校教育において、本市は義務教育を中心に役割を担ってきたが、多様な市民ニーズに応えるためには、従来の学校教育にとどまらない学びの場も必要。夜間中学等もその例だが、市民の学びたいという思いに応えるべく、民間とも連携し、多様な教育環境の整備に努めていく。

問 子どもの医療費助成の対象年齢を18歳到達年度末まで拡大すべき音楽ホールと中心部震災メモリアル施設

答 子ども医療費助成の対象年齢を18歳到達年度末まで拡大すべき音楽ホールと中心部震災メモリアル施設

問 子どもの医療費助成の対象年齢を18歳到達年度末まで拡大すべき音楽ホールと中心部震災メモリアル施設

答 子ども医療費助成の対象年齢を18歳到達年度末まで拡大すべき音楽ホールと中心部震災メモリアル施設



移転が予定される県民会館(写真上)と廃止が予定される市民会館(写真下)

市民フォーラム 仙台

加藤 けんいち 議員

問 令和5年度からの3年間で約969億円の財政不足が見込まれる中、本庁舎の建て替えや音楽ホールの建設等、大規模な財政支出が予定されている。財政の健全化との整合性について、市長に伺う。

答 本市の魅力や活力を生み出すまちづくりへの投資を計画的に進めていく必要があり、計画段階からの

問 財政の健全化と大規模財政支出の整合性を

答 令和5年度からの3年間で約969億円の財政不足が見込まれる中、本庁舎の建て替えや音楽ホールの建設等、大規模な財政支出が予定されている。財政の健全化との整合性について、市長に伺う。

問 新型コロナウイルスの感染拡大による臨時休校に伴う子どもたちの教育への影響が懸念される。原則、オンライン端末は持ち帰りとし、いつでも活用できる環境を整備すべき。

答 各学校で端末の持ち帰り練習を行っており、臨時休校時に端末を活用できた学校があった一方、帰宅後に翌日臨時休校となり、活用できなかった学校もあった。毎日の持ち帰りには荷物の重さ等の

問 新型コロナウイルスの感染拡大による臨時休校に伴う子どもたちの教育への影響が懸念される。原則、オンライン端末は持ち帰りとし、いつでも活用できる環境を整備すべき。

答 各学校で端末の持ち帰り練習を行っており、臨時休校時に端末を活用できた学校があった一方、帰宅後に翌日臨時休校となり、活用できなかった学校もあった。毎日の持ち帰りには荷物の重さ等の



オンライン端末を活用した授業の様子

代表質疑

公明党

鈴木 広康 議員

問 世界に誇るまちづくりを目指すなら、「アジアのリーダー都市」のような目標を掲げ、ハード・ソフトを組み合わせた施策展開が必要だ。市長が施政方針で世界を強く意識した思い、施策実現の決意を伺う。

答 世界から選ばれるまちの実現のため、いかに地域が輝き続けられるかを考える大切な時期である。

問 子どもの医療費助成制度について、所得制限を撤廃する市長の判断を評価する。令和5年4月から運用開始とのことだが、少しでも早い実施を求める。

答 子育て環境をより充実させるための選択の中で、特に子どもへの健康を支える観点を重視し、継続的な子育て家庭の経済的負担軽減に資することから決断した。時期の前倒しについては、制度の詳細を考えていく中で、システム改修も含めた準備の時間や財源の確保等、さまざまな観点から検討したい。

問 子どもの社会的自立につながるような教育や、年齢や性別、国籍を問わない学びの確保が重要。令和5年度に夜間中学設置や不登校特別校開校が予定されているが、時代に即した学都仙台となるよう、多様な教育環境の充実を図るべき。

答 学校教育において、本市は義務教育を中心に役割を担ってきたが、多様な市民ニーズに応えるためには、従来の学校教育にとどまらない学びの場も必要。夜間中学等もその例だが、市民の学びたいという思いに応えるべく、民間とも連携し、多様な教育環境の整備に努めていく。

問 子どもの医療費助成の対象年齢を18歳到達年度末まで拡大すべき音楽ホールと中心部震災メモリアル施設

答 子ども医療費助成の対象年齢を18歳到達年度末まで拡大すべき音楽ホールと中心部震災メモリアル施設

問 子どもの医療費助成の対象年齢を18歳到達年度末まで拡大すべき音楽ホールと中心部震災メモリアル施設

答 子ども医療費助成の対象年齢を18歳到達年度末まで拡大すべき音楽ホールと中心部震災メモリアル施設



仙台自主夜間中学の授業風景(写真提供 仙台自主夜間中学)

日本共産党

すげの 直子 議員

問 コロナ禍を乗り越えるため、思い切った財政措置を

答 本市独自の財政措置と共に、国の地方創生臨時交付金の使途について、新型コロナウイルスの影響を受けている市民・事業者が即役立つよう充当し、県に対しても補助金の本市への十分な措置を強く求めよ。

問 子どもの医療費助成は、所得制限撤廃のみならず、18歳までの対象年齢拡充や一部負担金撤廃を。

答 子どもたちの健やかな成長を応援する施策を検討する中で、所得制限を撤廃することとしたが、対象年齢拡充等は、所得制限撤廃後の状況も踏まえ、本市の財政負担等の見通しを立て、慎重に検討すべきと考えている。また、この制度は、県の補助基準に独自の上乗せを行っていることから、県市長会等を通じて県に対し拡充を強く求めていく。併せて

問 子どもたちの健やかな成長を応援する施策を検討する中で、所得制限を撤廃することとしたが、対象年齢拡充等は、所得制限撤廃後の状況も踏まえ、本市の財政負担等の見通しを立て、慎重に検討すべきと考えている。また、この制度は、県の補助基準に独自の上乗せを行っていることから、県市長会等を通じて県に対し拡充を強く求めていく。併せて

問 子どもたちの健やかな成長を応援する施策を検討する中で、所得制限を撤廃することとしたが、対象年齢拡充等は、所得制限撤廃後の状況も踏まえ、本市の財政負担等の見通しを立て、慎重に検討すべきと考えている。また、この制度は、県の補助基準に独自の上乗せを行っていることから、県市長会等を通じて県に対し拡充を強く求めていく。併せて



冬場でも冷水しか出ない学校の手洗い場

せんだい自民党

跡部 薫 議員

問 コロナ禍での音楽ホール整備の理由と県等と連携した諸課題解決

答 音楽ホールの整備は本市経済活性化に資するものと捉え、早

問 人口減少社会の到来、少子高齢化の進行、老朽化する公共インフラ整備、コロナ禍等、本市単独での解決が困難な局面が多い今、音楽ホールの整備を判断すべきなのか。仙台圏の将来の都市像を県等と共有し、連携を深め、解決を図るべき。

答 音楽ホールの整備は本市経済活性化に資するものと捉え、早

問 アフターコロナにおける地域経済の活性化を目的に、交流人口の拡大を図るため、東北の玄関口として仙台駅西口再開発、パスタプロジェクト、観光案内所、中心部商店街振興策についてどのように取り組みを進めていくのか。伺う。

答 仙台駅周辺エリアは多くの人が訪れる交通結節点であり、にぎわいや交流拠点として、国や民間企業、関係部局と連携し、回遊性の向上や案内機能等の充実に努める。また、中心部商店街につい

問 アフターコロナにおける地域経済の活性化を目的に、交流人口の拡大を図るため、東北の玄関口として仙台駅西口再開発、パスタプロジェクト、観光案内所、中心部商店街振興策についてどのように取り組みを進めていくのか。伺う。

答 仙台駅周辺エリアは多くの人が訪れる交通結節点であり、にぎわいや交流拠点として、国や民間企業、関係部局と連携し、回遊性の向上や案内機能等の充実に努める。また、中心部商店街につい



交流人口拡大にとって重要なJR仙台駅周辺エリア

市民フォーラム

石川 建治 議員

問 新型コロナウイルスの家庭内感染を防止、安心して自宅療養できるように家庭状況に応じた対応を求め。

答 自宅療養中の家庭内の感染対策・支援として、感染対策のポイントをまとめたハンドブックの配布のほか、訪問健康観察や生活支援物資の配達等も行っている。また、家庭内感染の不安などがあ

問 新型コロナウイルスの家庭内感染を防止、安心して自宅療養できるように家庭状況に応じた対応を求め。

答 自宅療養中の家庭内の感染対策・支援として、感染対策のポイントをまとめたハンドブックの配布のほか、訪問健康観察や生活支援物資の配達等も行っている。また、家庭内感染の不安などがあ

問 新型コロナウイルスの家庭内感染を防止、安心して自宅療養できるように家庭状況に応じた対応を求め。

答 自宅療養中の家庭内の感染対策・支援として、感染対策のポイントをまとめたハンドブックの配布のほか、訪問健康観察や生活支援物資の配達等も行っている。また、家庭内感染の不安などがあ

問 新型コロナウイルスの家庭内感染を防止、安心して自宅療養できるように家庭状況に応じた対応を求め。

答 自宅療養中の家庭内の感染対策・支援として、感染対策のポイントをまとめたハンドブックの配布のほか、訪問健康観察や生活支援物資の配達等も行っている。また、家庭内感染の不安などがあ



ビルの建て替えが待たれる市中心部

一般質問

議案以外の市政全般に関する質問を一般質問といいます。22人の議員が行った一般質問のうち、主な質問と答弁の要旨等を掲載しています。

自由民主党

千葉 修平 議員

問 脱炭素や災害対策として、も公用車にEVを増やすべきか。

答 次世代自動車等導入方針に基づき公用車の電動化を進めてきたが、市役所での取り回りを一層推進し、普及促進を図る。「走る蓄電池」としてEV等を活用した災害への強靱化推進とV2H設備導入や次世代自動車の個人購入への補助を、市内の老朽化した擁壁やブロッコ坪への対策を。

加藤 和彦 議員

○アフターコロナを見据えた地域経済の回復に向けた戦略

○仙台・東北の強みを生かした東北連携と地域活力の向上

○国道48号線を軸に沿道地域の魅力を引き上げ、つなげることで新たな仙山交流の創出を

○作並・新川地区における農業振興、オートキャンプ場の誘致、森林資源の活用

○宮城総合支所の機能強化による多面的な仙山連携の推進

橋本 啓一 議員

○社会生活を維持するために必要な職種の感染防止策と支援

○救急搬送困難事例への対応とDAXによる救急搬送の効率化

○小中学校のオンライン授業の早期実施に向けた具体的支援

○トップセールスによる企業

嶋中 貴志 議員

問 施策方針の各種施策は評価するが、重要なのは東北連携の視点であり、今後の取り組みについて伺う。

答 本市がリーダーシップをとり各自自治体と連携し、東北の多彩な文化、自然、芸術等の資源の魅力向上や発信、起業の促進や交流人口の拡大に寄与し、東北の活性化に力を尽くす。

○学校の水泳授業の民間委託

○ヒアリング・フレイル対策

鎌田 城行 議員

問 スポーツとともに文化面で活躍する方々への励まし・顕彰にも力を入れるべき。市長が直接励ます機会を設けて賛辞を送れ。

答 優れた実績を挙げた文化芸術の担い手の方々にはスポットを当て、さらなる活躍を後押しする制度創設について検討する。

○郷土の偉人等を顕彰する場づくりの推進と進捗状況

○ホームページでの顕彰の発信

せんだい自民党

田村 勝 議員

問 避難所機能充実やバリアフリー化、脱炭素化やICT化、感染症対策、他公共施設との複合化等、未来を見据えた学校施設のビジョン制定を求める。

答 国の新しい時代の学びを表現する学校施設の在り方の議論も注視し、環境整備に努める。

○将来人口予測の見直し

○コミュニティまつり助成金

○町内会再編支援とICT支援

○市立高校の一人一台端末整備

野田 謙 議員

問 音楽ホールをはじめとした施設とされた多くの施策が成功のため、2人の副市長が市役所に横串を刺す組織間の連携を作り出し市長の下で進める有効的な組織体制の構築を。

答 両副市長を含め各局が連携した体制の中で、横串を何本も刺すつもりで事業を進めていく。

○区役所での在り方と権限拡充

○泉区北中山地区の地滑り対策

○職員意識改革の新たな方策

西澤 啓文 議員

問 新型コロナウイルス収束後の観光における都市間競争の激化を見据え、DMOの早期設立を。

答 関連事業者の意見も伺いながら、交流人口・ビジネス活性化戦略推進の中で鋭意検討する。

○博物館・美術館中の観光誘客

○育成のため、仙山観光国際協会へ若い市職員の派遣を

○定禅寺通エリアに若者が継続的に活躍できる場の整備を

○今後の広瀬通の渋滞対策

渡辺 博 議員

問 歩行者自身の命を守る交通ルール順守の啓発について

答 県警との連携強化を図るべく、通行の支障となる電柱の実態把握と解決に向けた体制整備

○(仮称)仙山文化芸術推進基本計画は、日本の伝統



定禅寺通の活性化に向け令和3年に実施したストリートマーケットの様子

一般質問

斎藤 範夫 議員

問 いじめ防止条例制定時、市長は、児童生徒の自己肯定感が低いことを強調していた。その後の取り組みと課題を伺う。

答 本市の子どもの自己肯定感は「たくましく生きる力育成プログラム」等の実施で高まったが、まだ低い状況であり、さらに高めていく必要がある。

○歴史教科書と授業の適正化

○伊達文化と能楽堂整備

○泉区役所建替事業の課題

佐藤 正昭 議員

問 羽生選手への思いをくんだアイスアリーナ仙台をクラウドファンディングやふるさと納税、寄付など民間資金を活用して整備すべき

答 公共施設は赤字で当たり前は昭和の感覚、民間の知恵と発想で赤字体質から脱却を。

○アフターコロナの音楽ホール、仙台市体育館を公民連携で市民が求める稼げる施設・もうかる施設を

日本共産党

庄司 あかり 議員

問 学校のトイレへの生理用品設置について、子どもへの健康を尊重したい。

答 児童生徒の健全育成のためさまざまな面から検討が必要。子どもへの健康をつかさどる護国教諭の意見を尊重したい。

○会計年度任用職員の号俸引き上げで賃金格差の是正を



世界が待ち望むアイスアリーナ仙台(写真は羽生選手のモニュメント)

山下 純 議員

問 自覚症状がない緑内障の周知と検査の啓発を求め

答 ホームページの活用等による周知とさまざまな機会を捉えた啓発に努める。

○臨時休校措置による学校給食廃棄の再発防止を

○可能な限り廃棄が発生しないよう給食センターと調整し、食材の有効活用を努める

○難病者に対する支援の充実

○眼科検診で眼底OCT検査を

郷古 正太郎 議員

問 児童の欠員の影響で保育園の統廃合や譲渡を検討する事業者への積極的支援を

答 検討中の事業者から状況を知った上で相談にも応じるなど、適切な支援に取り組み

○アプリで保育園の空き枠情報の可視化などDX化を進めよう

○民法改正で可能となる隣地から越境した枝の切除に係る情報発信と枝処理の支援

○オンライン授業配信への支援

鈴木 すみえ 議員

問 再犯防止推進のため、更生支援の推進や体制整備、市民理解増進等を条例化し、安全で安心して暮らせるまちづくりを

答 せんだい支えあいのま



保育園児童の欠員問題の解決に向け積極的な取り組みを

審議の概要

嵯峨 サダ子 議員

問 保育士・介護職員の処遇改善

答 養育費立て替え事業の実施を

○地域防災計画に災害ケイスナレジメントを位置付け制度を創設すべき

○国が本市の被災者支援策を例に議論していることも踏まえ、動向を注視し検討を進める

○被災箇所未修繕の834戸を調査し個別支援につなげよう

○東日本大震災で成庭台のマンションの被害判定のランクが下がり、住民が支援金等の返還を請求された問題



本市でも学校トイレに生理用品の設置を(写真は多賀城市立中学校のトイレ)

伊藤 ゆうた 議員

問 音楽ホールの建設事業費が際限なく膨らむことを避けるため、コスト増減管理を徹底すべき

答 基本構想の策定過程で財源確保策を含め改めて精査し、この段階で算出する建設事業費を基礎に、過度に財政負担が増えないよう努める。

○中心部震災メモリアル拠点整備に先行し施設運営やソフト事業を担う人材育成を

ひぐちのりこ 議員

問 公務非正規女性労働者への調査で9割以上が将来への不安を抱えている結果への所見は

答 非正規雇用の方と共通の状況と認識。関係機関と連携し労働相談の実施等に努めていく

○統計資料の重大性への認識と統計調査中止の本市への影響

○保育の質の向上と地域拠点保育所の機能強化

○米の消費拡大に向け全庁はじめ各学校等での取り組みを

辻 隆一 議員

問 東部沿岸エリアのまちづくりにおける蒲生北部地区の位置付けについて伺う

答 豊かな自然や歴史的資源等の多くの魅力があり、海辺に訪れたとき、にぎわいをもたらし、重要な位置付けにある。

○蒲生干潟の保全について

山本 雅浩 議員

問 介護現場の人手不足は深刻。市は保険者として、危機感を持って対策を講じるべき

答 介護を志す方々が定着する体制づくりが大事。事業者や県と連携し、積極的に対応を

○泉区役所庁舎整備により泉中央地区のまちの骨格軸形成を

○市民の健康増進の観点に立つた新たなスポーツ推進計画を

○夜間中学での外国籍生徒への日本語学習指導の充実を

竹中 栄雄 議員

問 大震災から11年だが、どのように風化と戦い、防災減災の都市へ本市を導くのか

答 「防災文化」・「災害文化」の創造と世代を超えた継承により、「防災環境都市・仙台」のまちづくりを進める

○災害時の応急仮設住宅にムービングハウスの活用を

○防災士研修への補助を

○沿岸地域へ自動運転交通を

佐々木 真由美 議員

問 学校での感染対策にハード面の対策も盛り込むべき

答 アクリル板やサーキュ



グループワークの際にアクリル板を導入している小学校

常任委員会審議の概要

令和4年2月22日開催

委員会に付託された議案の番号を各常任委員会名の隣に記載しています。

各議案の名称は、8面の会派別議案番号一覧表をご覧ください。

健康福祉委員会

健康福祉局・子供未来局・市立病院を所管

付託された議案番号(第37・44・52・61号)

〈付託議案番号〉

付託された病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例ほか11議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

〈付託議案の質疑項目〉

○腎臓内科を診療科目として設置することにした経緯および理由

○宮城社会福祉センターおよび泉社会福祉センターの大規模改修スケジュール

経済環境委員会

環境局・経済局・文化観光局・農業委員会・ガス局を所管

付託された議案番号(第62・63号)

〈付託議案番号〉

付託された指定管理者の指定に関する条例2議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

〈その他の主な質疑項目〉

○コロナ禍での本市における文化芸術振興の現状と課題

○文化芸術関係者への継続的な支援として公演・展示活動助成事業の随時受け付けや、会場費助成の継続または新制度化を

都市整備建設委員会

都市整備局・建設局・水道局・交通局を所管

付託された議案番号(第39・43・51・68号)

〈付託議案番号〉

付託された仙塩広域都市計画事業仙台市蒲生北部被災市街地復興土地区画整理事業施行規程の一部を改正する条例ほか3議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

〈付託議案の質疑項目〉

○最終的な事業費および事業開始当時から比較した縮減額と縮減理由

市民教育委員会

市民局・消防局・教育委員会を所管

付託された議案番号(第35・42・45・50・64・66号)

〈付託議案番号〉

付託された交通指導隊条例の一部を改正する条例ほか10議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

〈付託議案の質疑項目〉

○現状の本市の交通指導隊の定員数と隊員数、年齢構成について

○交通指導隊隊員の対象年齢拡大に伴う募集方法の工夫

総務財政委員会

危機管理局・総務局・まっすぐり政策局・財政局・その他を所管

付託された議案番号(第32・34・67号)

〈付託議案番号〉

付託された職員定数条例の一部を改正する条例ほか3議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

〈付託議案の質疑項目〉

○地方税共同機構に職員を派遣することにより本市が得る利益に対する認識

○職員が育児休業を取得しやすい環境づくりへの取り組み

用語解説

本文中に紫文字で表記した用語を解説しています。

- **バスタプロジェクト**(注1) (3面2段)

鉄道やバス、タクシーなど、多様な交通手段がつながる集約型公共交通ターミナル(バスタ)を、官民連携で整備する国土交通省のプロジェクト。地域における課題を解決するとともに、道路ネットワークの機能を最大限発揮し、地域活性化や災害対応強化、生産性向上の実現を図る。
- **EV**(注2) (4面1段)

Electric Vehicleの略で、電気自動車のこと。
- **V2H**(注3) (4面1段)

Vehicle to Homeの略。電気自動車等に搭載された電池に充電された電気を、家庭用電力等として利用する仕組み。
- **DMO**(注4) (4面2段)

Destination Management/Marketing Organizationの略で、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりのかけ取り役として、国による登録を受けた法人。各種ツアー等を集集・分析して戦略を策定するとともに、多様な関係者と共同しながら、戦略を着実に実施するための調整機能を備える。
- **ヒアリングフレイル**(注5) (5面1段、7面2段)

フレイル(加齢による心身の脆弱)の一つであり、聴覚機能の衰えのこと。聴こえにくさから会話に参加することが困難となり、人とのつながりが低下することで、心身のフレイルや認知症、うつ病のリスクを高めることが懸念される。
- **コミュニティ・スクール**(注6) (6面1段、6面5段)

学校運営協議会制度を導入した学校のこと。保護者や地域住民が学校の運営に参画し、地域と一体となった特色ある学校づくりを推進すること。子どもが抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みの構築や、質の高い教育の実現を図るもの。
- **消化ガス発電**(注7) (6面6段)

下水汚泥を処理する過程で発生するメタン等の消化ガスを燃料として利用して発電する仕組みのこと。
- **マイ・タイムライン**(注8) (7面2段)

風水害の発生に備え、家族構成や生活環境に合わせ、自身や家族の取るべき行動について住民自らが時系列で整理し作成する避難計画のこと。風水害時の安全な避難行動につながる効果が期待される。
- **SBL**(注9) (7面2段)

仙台市地域防災リーダー(Sendai City-chiiki Bouzai Leader)の略。平成24年度から本市独自のカリキュラムに基づき養成を行っており、774名(令和4年4月1日現在)が活動中。地域に根差した自主防災活動を推進する役割を担っており、効果的な防災訓練の企画運営や災害時の地域住民の避難誘導等で活躍している。
- **インクルーシブ教育**(注10) (7面5段)

障害のある方とない方が共に学ぶ仕組みのこと。人間の多様性の尊重等の強化と、障害のある方が精神的および身体的な能力等を可能な最大限まで発達させ、自由な社会への効果的な参加を可能とすることを目的とする。



会派別所属議員

令和4年3月14日現在 ※定員55人、うち欠員1人

加藤 彦一	橋本 啓彦	野田 譲文	西澤 文治	鈴木 勇彦	赤間 次彦	渡辺 隆博	猪又 隆広	千葉 修平	内藤 良介	高橋 卓誠	菅原 正和	庄司 俊充	岡部 恒司	自由民主党
山郷 純	郷古 正太郎	細野 たかし	鈴木 すすみえ	村上 かずひこ	安孫子 雅浩	貞宗 けんじ	沼沢 しんや	沼辺 敬信	渡辺 けんいち	加藤 けんいち	佐藤 わか子	小野寺 健	市民フォーラム仙台	
斎藤 夫	佐藤 昭勝	田村 貴子	村岡 崇良	菊地 心薫	佐々木 雄	竹中 幸雄	佐藤 真由美	佐藤 和志	嶋中 久美子	小田島 裕	小野寺 利城	鎌田 広行	鈴木 康	公明党仙台市議団
伊藤 ゆうた	小山 勇朗	いのまた 由美	ひぐち のりこ	辻 隆一	石川 建治	高村 直也	高見 のり子	高司 あかり	庄司 直子	すげの 直子	ふるくぼ 和子	嵯峨 サダ子	日本共産党仙台市議団	



会派別議案賛否一覧表

議案 〔 〕内は議案番号	会派名 ()内は所属議員数						採決結果
	自由民主党 (14)	市民フォーラム仙台 (12)	公明党仙台市議団 (9)	せんだい自民党 (7)	日本共産党仙台市議団 (6)	市民と未来のために 市民フォーラム市議団 (5)	
令和3年度補正予算案 一般会計(第18号)[1]、(第19号)[75] 特別会計 ・都市改造事業(第1号)[2] ・国民健康保険事業(第1号)[3] ・中央卸売市場事業(第3号)[4] ・駐車場事業(第1号)[5] ・公債管理(第1号)[6] ・新墓園事業(第1号)[7] ・介護保険事業(第1号)[8] 企業会計 ・下水道事業(第1号)[9] ・自動車運送事業(第2号)[10] ・高速鉄道事業(第2号)[11] ・ガス事業(第2号)[13]	○	○	○	○	○	○	可決
令和4年度予算案 一般会計[15] 特別会計 ・都市改造事業[16] ・中央卸売市場事業[18] ・駐車場事業[20] ・母子父子寡婦福祉資金貸付事業[22] ・新墓園事業[23] ・後期高齢者医療事業[25] 企業会計 ・下水道事業[26] ・高速鉄道事業[28] ・病院事業[31]	○	○	○	○	○	○	可決
条例改正案 職員定数条例[32]、公益的法人等への職員の派遣等に関する条例[33]、職員の育児休業等に関する条例[34]、交通指導隊条例[35]、障害者福祉センター条例[36]、個人番号の利用に関する条例[37]、国民健康保険条例[38]、仙塩広域都市計画事業仙台市蒲生北部被災市街地復興土地区画整理事業施行規程[39]、自転車等駐車場条例[40]、消防団員に関する条例[41]、文化財保護条例[42]、交通事業の設置等に関する条例[43]、病院事業の設置等に関する条例[44]、消防関係手数料条例[74]	○	○	○	○	○	○	可決
その他議案 国民健康保険条例[76]	○	○	○	○	×	○	可決
議案提出議案 議第1号 仙台市議会委員会条例の一部を改正する条例 意見書第1号 台湾の世界保健機関(WHO)への参加実現のための取組の強化を求める件 意見書第2号 戦没者の遺骨収集を着実に推進することを求める件 決議第1号 ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対する抗議に関する件 意見書第3号 台湾の環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定(CPTPP)への加入に向けた積極的な働きかけを求める件	○	○	○	○	○	○	可決
議案提出議案 工事請負契約の締結に関する件[45~50]、損害賠償の額の決定に関する件[51]、指定管理者の指定に関する件[52~66]、包括外部監査契約の締結に関する件[67]、市道路線の認定及び廃止に関する件[68] 副市長の選任に関する件[69]、固定資産評価審査委員会の委員の選任に関する件[70]、土地利用審査会の委員の任命に関する件[71]、宮城県公安委員会の委員の推薦に関する件[72]、人事委員会の委員の選任に関する件[77]、監査委員の選任に関する件[78] 人権擁護委員候補者の推薦に関する件[73]	○	○	○	○	○	○	可決
議案提出議案 議第1号 仙台市議会委員会条例の一部を改正する条例 意見書第1号 台湾の世界保健機関(WHO)への参加実現のための取組の強化を求める件 意見書第2号 戦没者の遺骨収集を着実に推進することを求める件 決議第1号 ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対する抗議に関する件 意見書第3号 台湾の環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定(CPTPP)への加入に向けた積極的な働きかけを求める件	○	○	○	○	○	○	可決

○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対

議長特別表彰を行いました



令和3年12月21日
豊島英選手、藤本怜央選手
(東京2020パラリンピック競技大会 車いすバスケットボール男子銀メダル)



左から藤本怜央選手、豊島英選手、赤間次彦議長

令和4年1月28日
石沢麻依氏
(小説「貝に続く場所にて」第165回芥川賞受賞)



左から赤間次彦議長、石沢麻依氏(モニター)、郡和子市長

令和4年1月29日
鈴木亜弥子氏
(東京2020パラリンピック競技大会 バドミントン女子シングルス銀メダル、女子ダブルス銅メダル)



左から赤間次彦議長、鈴木亜弥子氏(モニター)

編集後記



「仙台市議会だより」は、定例会の審議内容を市民の皆様にお伝えするため、市議会の広報委員会が編集しています。このほかにも広報委員会では、インターネット議会中継やポスター広告などの運営に携わっています。今回は、市議会ポスター広告についてご紹介します。ポスター広告は、定例会の開催日程を広くお知らせするため、市営地下鉄・バスや市施設のほか、各町内会等のご協力をいただき地域の掲示板等に掲出しています。昨年度は初めて高校生を主人公として4回で完結するストーリー性のあるものを採用し、好評をいただきました。令和4年度も新しいデザインのポスターで定例会の開催をお知らせしますので、市議会ホームページや議会中継をご覧ください。ただ、幸いです。市議会を身近に感じていただけるよう、今後も議会広報充実に向けてまいります。

意見書・決議

意見書

意見書第1号

台湾の世界保健機関(WHO)への参加実現のための取組の強化を求める件

意見書第2号

戦没者の遺骨収集を着実に推進することを求める件

意見書第3号

台湾の環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定(CPTPP)への加入に向けた積極的な働きかけを求める件

決議

決議第1号

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対する抗議に関する件

